

寅さん歩 その13

お江戸の閻魔大王-8

(谷中～板橋)



平野 武宏

お江戸の閻魔大王には「寅さん歩 その11 江戸・東京の祭-28 (江戸らしい祭-12) 閻魔まつりで7ヶ所訪問しましたが、お江戸の閻魔大王はなんと44ヶ所もあるとのこと。2012年寅次郎がお江戸に移り住み、入会した東京都ウォーキング協会(以降TWA)では8回に分け、2016年から2年間かけて歩いて巡る予定と知り、「寅さん歩」の新たなテーマとして取り組みました。

今回はその8(最終回)です。閻魔大王は基本的にはご開帳の時(1月・7月)にしか、ご尊顔を拝見できない場合が多いですが、例会当日はTWAが寺院に特別にお願いして、お会いすることが出来ました。平成29年(2017年)10月8日残った8ヶ所の閻魔大王にお会いする結願の例会に参加しました。13kmのコースです。

説明内容は現地の説明板及び当日の配布資料を参照しています。最寄り駅は代表例です。

[瑠璃光山 長久院 薬師寺]

台東区谷中6-2-16 最寄駅 千代田線 千駄木駅



真言宗豊山派のお寺で、地図上では長久院の名前が出ています。慶長 16 年 (1611 年) 宥意が開山、慶安 11 年 (1658 年) 当地に移転したといひます。入口の「六十六部造立石造閻魔王坐像及び両脇侍像」の説明板に『この石仏は中央に閻魔王像、左右にそれぞれ司命、司録像を配しています。閻魔王は死者の生前の行いに応じて死後の行先を決めるという冥界の王で、司命は閻魔王の判決を言い渡し、司録は判決内容を記録する従者であるとされています。台座に刻まれた銘文によると六十六部聖(六の部聖ともいう)は光譽円心という人物が享保 11 年(1726 年)に造立したものです。

六十六部聖とは「法華経」を六十六部書写し、全国六十六個所の霊場に 1 部ずつ奉納した聖のことをいひます。江戸時代になると経典の奉納の他に、石塔・石仏の造立をかさねることは生前の罪障を減らし、死後の往生に近づくこととされたためです。都内に現存する六十六部聖を造立した石仏を調べてみると、地藏菩薩像が圧倒的に多く、閻魔王像は極めて希であることが分かります。本像は六部聖が江戸時代の谷中でも活躍したことを裏付けるとともに、希少な石仏として貴重な文化財のひとつです』と記載。閻魔王の顔は見る角度によっては笑顔で別名「笑い閻魔」とのこと。



〔護国山 尊重院 天王寺〕

台東区谷中 7-14-8 最寄駅 山手線 日暮里駅

谷中霊園の日暮里駅側にあり、文永 11 年 (1274 年) 日蓮の弟子の日源が開山。寛永 18 年 (1641 年) 徳川家光、英勝院、春日局の外護を受け、将軍家の祈禱所となります。元禄 11 年 (1698 年) 天台宗に強制的に改宗させられています。幕府公認の富くじ「江戸三富」(目黒不動・湯島天神) の場所として禁令の出る天保 13 年 (1842 年) まで大いに賑わりました。明治新政府から明治 7 年 (1874 年) 寺域のかなりの部分を東京府に移管させられ、谷中霊園になります。



昭和 32 年 (1957 年) 放火心中事件で五重塔を焼失しています。正面本堂の閻魔像は当日は法要中で見られませんでした。

〔白龍山 東覚寺〕

北区田端 2-7-3 最寄駅 山手線 田端駅

真言宗豊山派のお寺で延徳3年（1491年）神田に創建、根岸を経て慶安年間（1600年頃）当地に移転したといわれます。門前右側にある祈願者が痛い部分に赤紙を貼りつけた「赤紙仁王」（写真下右）が有名です。



閻魔大王は山門の正面本堂（写真上左）に鎮座ですが、こちらも見られず。閻魔大王は極彩色でギンギラの一見プロレスラー風で、奪衣婆は棍棒を持っているとのことで、見たかったです。

寅さん歩 その10 健康ご利益めぐり-30 北区 を参照ください。

〔光明山 照徳院 円勝寺〕

北区中里 3-1-1 最寄駅 山手線 駒込駅

山手線が脇を走る浄土宗のお寺です。前には駒込駅と田端駅間にある山手線唯一となった踏切「第二中里踏切」がありました。



本堂に鎮座の閻魔大王は公開をしていません。ひげだらけでイラ
ンの革命王そっくりだそうです。

〔醫王山 東光院 真性寺〕

豊島区巢鴨 3-21-21 最寄駅 山手線 巢鴨駅

巢鴨とげぬき地蔵通り（中山道）の入口にある江戸六地蔵で有名な真言宗豊山派のお寺。正面の六地蔵に向かって右手前にある白い建物に閻魔大王が鎮座。



寅さん歩 その10 健康ご利益めぐり-25 豊島区および
その6 江戸六地蔵めぐりを参照ください。

〔薬師山 延寿院 善養寺〕

豊島区西巢鴨 4-8-25 最寄駅 都電荒川線 新庚申塚駅

説明板によると『天長年間（824年～833年）に開祖である慈覚大
師が上野山内に創立したと伝えられる天台宗の寺院で東叡山寛永
寺の末寺。江戸時代の寛文年間（1661年～1672年）に下谷阪本（後
の下谷区善養寺町、現在の台東区上野公園）に
移転した後、境内地が鉄道用地にかかるという
ことで、明治45年（1912年）に現在地に移転。



本堂には高さ約 3mの木造閻魔大王坐像が鎮座し、広く信仰を集めていることから「おえんま様の寺」とも呼ばれ、江戸三大閻魔の一つとしても親しまれているとのこと』と記載。

(他の二つは新宿の太宗寺、杉並松の木華徳院の閻魔大王です)

[幡場山 文殊寺]

板橋区仲宿 2-8-5 最寄駅 三田線 板橋区役所前駅

中山道板橋宿 仲宿にある真言宗豊山派の寺で、ご本尊は文殊菩薩。説明板には「江戸初期、本陣飯田家の菩提寺として、古くから信仰を集めていた延命地蔵尊の境内を拡げて建立された。

開山は寛 永 2 年（1625 年）に入寂の権大僧都慶恵と伝える。

天保 6 年（1835 年）に全焼し、安政以降は正住職を置かず、赴任する仮住職も短期間で他の寺へ転任し、出世寺とも呼ばれた」と記載。山門（写真下左）左脇には閻魔を祀る閻魔堂（写真下右）、

右脇に延命地蔵堂、足腰の守り神として知られる子の権現がある。

他にも中山道板橋宿の史跡が多く残されているとのこと



左：延命地蔵



右：子の権現

寅さん歩 その10健康ご利益めぐり-17 板橋区を参照ください。

〔亀嶋山 専称院 地藏寺〕

板橋区仲町 44-1 最寄駅 東武東上線 中板橋駅

説明板には「浄土宗の寺で豊島の地（王子）に地藏堂として創建。宝永年間（1704年～1711年）祐天上人により中興され、現寺号に改称。昭和7年（1932年）都市計画で王子より乗蓮寺塔頭香林院を合併し、当地に移転した」と記載。

本堂（写真下左）の右手前に地藏堂があり、閻魔大王が鎮座。ひげが全くない閻魔大王は珍しいとのこと。



〔こぼれ話〕 お岩様のお墓



前述の善養寺手前にある妙行寺に「四谷怪談」のお岩さんのお墓がありました。

由緒の説明板には『お岩様は夫 伊右衛門との折り合いが悪く病身となられて、その後亡くなったのが寛永13年2月22日、爾来、田宮家では

いろいろと「わざわざ」が続き、菩提寺妙行寺四代目 日遜上人の法華經の功德により一切の因縁が取り除かれた。この寺も当時は四谷にあったが、明治 42 年に現在地に移転した。お岩様に塔婆を捧げ、熱心に祈れば必ず願い事が成就すると多くの信者の語るところだ』と記載。

この墓の手前には広島藩浅野家の正室達の墓がありました。浅野内匠頭の正室 瑤泉院は供養塔でした。(墓は品川泉岳寺)



これにてお江戸閻魔大王四十四か所の結願です。多くの閻魔大王にお会いして「自分のことを覚えてくれたかな？」とつぶやく寅次郎です。

四十四か所の一覧表は次回の寅さん歩を参照ください。

平野 寅次郎 拝